

「みんな違って、みんないい」

10月19日の土曜日に住吉小学校で第29回中国語弁論大会が行われ、本校から18名の小学生が参加し、とても可愛く詩の朗読を披露してくれました。一昨日の16日には住之江小学校での南大阪子ども民族音楽会に小学校テナムの会の10名が参加し、見事なパフォーマンスを披露してくれました。

また、先週月曜日11日には中学校S A学級7年生3名がふれあいデイキャンプに行き、パラスポーツ体験や他校生徒との交流を行いました。

このように、本校では外国につながりのある児童生徒や障がいのある児童生徒がたくさんおり、それぞれの場面で頑張ってくれています。これを多様性といい、本校の大きな特色となっています。そもそも小学生と中学生がこのように一緒に集会に参加しているこれこそがその多様性を見事に表しています。クラスや学校に自分とは出身や特性が違うお友達がたくさんいる、これがいまみや小中一貫校の良いところです。そんな違いの中で、協力し合って学校生活を行っていく、この当たり前のことがきっと将来のあなたたちの人生にプラスになると思います。

11月1日の10周年記念講演でパラスイマーの久保選手が「みんな違って、みんないい」「一人一人違うんだから、人と比べることに意味はない、誰もが自分史上最高にかっこいい」と何度もみんなに伝えてくれましたよね？

「みんな違って、みんないい」を大切にする学校でありたいと思います。

これで校長先生のお話を終わります。